

1. 課題名

マルチメディア遠隔教育環境の研究開発

2. 代表者名

上野 晴樹 (国立情報学研究所)

3. 研究成果の概要

本プロジェクトでは、主に大学院教育利用を想定したインターネットベースの汎用遠隔教育システムとして、マルチメディアコンテンツ・シェア型の汎用プラットフォーム WebLS を研究開発しており、平成16年度には試験的に公開し、インターネット・ミーティング等の国際的な実用実験も行った。本システムの特徴は、Usability に重点を置いて IT の非専門家である大学院教師でも簡単に手持ちのファイルからマルチメディア教育コンテンツを作成編集し、サーバによって共同利用・公開できることである。WebLS はインターネット環境上の Linux サーバシステムであり、ユーザは Windows, Mac, あるいは Linux のいずれかを搭載した通常の PC とウェブブラウザで利用でき、幅広いプラットフォームに対応している。全てのマルチメディアコンテンツの編集、公開ツールは Java 言語で開発されており、必要な時だけサーバからユーザの PC に自動ダウンロードする仕組みになっている。現在のシステムでは、多言語テキスト、画像、動画、音声、スライド/音声同期、及びリアルタイム型インターネット・プレゼンテーション等の各コンテンツタイプが扱える。